

幼兒訓練の標的

(二)

○

東京 女子師範附屬幼稚園

拜復御尋ねの件左に御答へ申上候。

一、本園にて訓練上最も重要な點として注意せる事項

第一、幼兒の心情をして自然の發達を遂げしめ自治の習慣を養ふこと。

第二、幼兒の環境を整理して日常生活の間に圓滿なる感情及び善良なる習慣を養成し特に我國固有の趣味及性情の涵養に努むること。

以上の目的により左の事項に注意す。

イ、幼兒の爲し得ることは成るべく自ら爲さしめ強ひて助力せざること。

ロ、幼兒に親炙する人々の感化と誘導に注意すること。

ハ、幼兒をして一事一我の眞摯なる實行者たらしむること。

しむること。

ニ、裝飾玩具繪畫及談話資料等は成るべく我國固有の趣味性情に適するものを選ぶこと。

ホ、幼兒の日常生活を具案的に指導すること。

(曾て貴誌第十六卷第一號に掲載せる所を御參照ありたし。)

二月十八日

○

東京府下澁橋町 精華幼稚園

一、幼兒心身自然の發育を重じてその助暢補導を主眼とすること。

一、心意の上に將來惡習となり惡徳となるべき萌芽は努めて未然に除去の法を講ずること。

一、本園は郊外にありて構内廣濶にして樹木等多き故常に自然に親しましめ以て身心の健全なる發達を遂げしむることに力む。

○

名古屋 市立第二幼稚園

▲本園は幼児の身體を保護して之を強壯にし、幼兒をして感覺を練習せしめ、幼兒の心情を正しきに誘ひ、良習を助長し、惡癖を矯正し、其天賦の能力を發展せしめ、家庭教育を補ひ、就學の基本を作る。

▲桃太郎主義を以て何事もなし、徽章も智仁勇兼備せる人を作らむ目的のもとに三種の神器を變化したるものを幼児に付けさせて居ります。

▲又本園の目的を歌に作り創立當時より今日まで園歌として幼児に歌はして居ります。

▲園歌

▲(一)お庭に咲いた櫻花芽生時から手を入れて霜にも枯れず風にも折れず強くなれ子供等折れずに枯れずに

▲(二)花にまけぬは人の常いざや守りて諸共につとめはげまん教のことは豪くなれ子供花咲く様

に。

○

京都 城巽幼稚園

一、強い人は自分の事を自分でする。

一、強い人はいつでも元氣である。

一、強い人はみんなと仲よくする。

一、強い人はメソメソ泣かぬ。

一、強い人は云ふ事をよくきく。

○

京都 銅駄幼稚園

一、柔順—父母、師の命令を直ちに實行すべき事。

二、規律—1.室内に於ては靜肅に室内に於ては活

潑に。

2.玩具は大切に使用し後始末をよくす

べき事。

3.指定の遊び場所にて遊ぶべき事。

三、正直—1.保母の居る時居らざる時も行に表裏

なかるべき事。

2. 拾ひし物は直ちに持主に返せ。

四、親切—1. 友達は互に仲よく遊び弱き者を助け

べき事。

2. 生物を愛すべき事。(草、木、鳥、獸)

五、勤勉—1. 何事をも一生懸命にすべき事。

2. 濫りに欠席すまじき事。

六、勇氣—少し位の事に泣かぬ事。

七、清潔—1. 顔手足は常に清潔なるべき事。

2. 身のまはりを清潔にすべき事。

九、禮儀—長者を尊敬すべき事。

九、言語—言葉遣は明瞭に丁寧なるべき事

大阪 下福島幼稚園

本園の位置は市の周圍部に屬し幼兒家庭の職業は小賣商人、勞働者多數を占む從て生活程度低く幼兒の品位低し之等の背景を立脚點として左の諸項に留意致し居候。

規律、清潔、共同、禮儀、言語、親和等の習慣

を養成する事。

東京 佛英和高等女學校附屬幼稚園

一、幼兒をして健全なる身體の發育を遂げしむる事。

二、幼兒の心情を快裕ならしめ共同和樂の精神を養成すること。

三、日常幼兒の耳目に觸るゝ物質の名稱を自然的に外國語を以て記憶せしむること。

東京 深川小學校附屬幼稚園

一、天皇陛下の臣であること。

一、父母や長者の言ふことは能くきくこと。

一、虚言を言はぬこと。

一、自分で出来ることは自分ですること。

一、悪いことだと思ふたら、すぐやめること。

一、忍耐の出来ることはがまんをすること。

一、弱いものや小さいものは可愛がり生物を愛す

ること。

- 一、よく勵みよく遊ぶこと。
- 一、身の周圍を清潔にし容儀を整へること。
- 一、友達は仲よくすること。
- 一、人の迷惑になることはせぬこと。
- 一、物を倉末にせぬこと。
- 一、規律をよくすること。

○

東京 中之町小學校附屬幼稚園

- 一、從順 幼者の克己の精神を惹起し從順の氣風を生ぜしめ他の良習慣の基礎となること。

- 二、規律 事物の遂行に順序あり規律ありて靜肅専ら其事物に心身を注ぐことは其成功に與つて大なる力あること。

- 三、勤勞 勤勞の精神性格により之れが習性をなすに至ると唯單に其勤むる事に於て進歩せしむるのみならず又彼の許多の不善の源泉たる怠惰に陥らしめざること。

四、清潔 不潔は唯外面のことのみならず心まで

も支配して惡徳養成の本となるもの故人間の最初より此の心を養ふこと。

五、同情 人の人たる所以全くこゝに存する故幼時より此の心の助長を計らねばならぬこと。

六、獨立自治 獨立自治は成功の基なり社會生活の準備としてなさねばならぬこと。

七、公德 他人に迷惑をかけず共同的精神を養ふこと。

○

八、誠實 虚言を禁じ他人の告罪を禁ずること。

東京 日本橋城東幼稚園

一自治心と意志の鍛鍊

我日本橋區の如きは比較的幼兒の家庭に雇傭人多き爲めか幼兒自身に當然爲し得らるべきことをも尙他人の手を勞すること多し又四圍の境遇上幼兒のおちつきなく動もすればそわ／＼として須臾も靜止することなし且事物に倦み易く乍

ち怒り乍ち笑ふ如きものゝ多き傾向あり此等の
缺陷を矯正すること本園の躰方中極めて緊要な
ることゝす。

以上本園幼兒躰方要項の一節に御座候。

○

大 阪 菅 南 幼 稚 園

一、自分で出来ることは自分でする習慣。

幼稚園の時代から、子供にこの習慣をつけて置
いたならば、子供一生の習慣となるのみならず
獨立の精神も、これによつて養はれます。

入園當初随分泣いたり、駄々を捏ねたりした子
供も一たび人の助をからずに、力一ぱいの活動
が出来ゝ様になると、すつかり眞面目な元氣な
子供となつてしまひます。

子供が自分の力一ぱい使つて出来た時の満足は
と尊いものはないと思ひます。

それで當園ではこの習慣をつけることを第一と
して居ります。

○

東 京 富 士 見 小 學 校 附 屬 幼 稚 園

拜復御問合の當園に於ける幼兒訓練上の要點と
申しても別に一般幼稚園と異なる事はこれなく候へ
ども當園兒の傾向として兎角男女とも多辯のやう
に相認め候まゝ努めて不言實行致すやう指導いた
しをり候かつまた規律もなか／＼亂れがちに候ま
ま無理のなき範圍に於て努めて規律的の訓練を施
し居候。以上不備の御答ながら仰せにまかせ一寸
申上候、草々。

○

東 京 淺 草 家 政 女 學 校 附 屬 幼 稚 園

(元柳北幼稚園改名)

一從順なれ、一正直にせよ、一自分の事は自分で
せよ、一きまりよくせよ、一よく遊べ、一子供ら
しくせよ等。

○

大 阪 西 六 幼 稚 園

物質豊富なる都市に於ては感情及び知的方面の發達には、利便多きも、爲めに意志を弱くするの弊あり、例へば電車を視ては歩行なし難きが如き、應接に遑なき諸種賣品の供給は、無意識に薄志弱行の習性を馴致す。故にこれを防ぐ可く、一般保育にも注意せり。

されど其詳細を記し難きに依り左記主要之事項を記せり。(鍛鍊に陥らざる様注意をなせり)

一、身體方面の方法。

い、毎日適度の駈足。

ろ、園外保育並びに徒歩獎勵。

は、襟巻を禁じ、薄着奨勵。

に、睡眠時間を十分になさしめ、早起、早眠の

良習慣の養成。

二、精神方面の方法。

い、入園當時及び期節行事の訓示に依つて從順の躰(例へば更衣の節、衣服の不平を云はざるやう)

ろ、時々靜なる音楽を聴かしめて沈着の氣分の養成。

は、所持品及び共同玩具の整頓に依つて自治自制の躰、

に、園外保育の際電車又は汽車の乗降及び共同遊戲に依つて共同及び公德心の養成。

以上家庭と協力して其實行を期せり。

大阪 幼稚園

一保健衛生、一獨立自治、一眞摯勤勉(本眞劍)

一言語容姿、一規律整頓、一勇氣快活、一溫和

寬恕、一禮義服從、一協同一致、一忠君愛國、

各項毎に幼兒實生活に適應せる實踐指導細目を

定めて保姆の參考資料とせり。

追て勅第一、第二幼稚園の名稱は數年前既に消滅致し單に勅幼稚園と相成居候に付右回答に添へ申上候、早よ。

幼児の訓練に就ては、保姆の性行は勿論、室内の裝飾、整頓、園内の清潔、設備等の諸點に於ても、常に幼児の氣分の上に、甚大の感化を與へつゝあるは言をまたず、本園に於ては、此等の諸點につき、絶えず注意しつゝあれども、主要なる標的としては、無邪氣にして正直ならしめんことを勉めつゝあり、其方法の一二例として、

(イ) 保姆は自分一切を幼児に與ふるやう幼児が保姆を他の兒の如く友達と感じ、何をなすにも顧慮することなく、却て保姆が仲間に入るを喜ぶに至る迄幼児に同化するやう勉む。

(ロ) 個人又は全體に過ちある時は、之を指彈せずして、他人の事のやうに話し、その是非を反省せしめ、幼児自ら羞しき顔をなし自分なりと云ひ出でし時、保姆は喜悅の色を以て其正直を獎め、將來を戒むることゝす。

(ハ) 良き子を獎め、不良なる兒に對し、余り干

渉せぬこと。

(ニ) 不良兒の良き時を見落さず、之を賞すること等。

其他必然起るべき及計畫したる實際生活に於て隨時養成しつゝある諸點は、

(1) 從順 (2) 自治 (3) 共同 (4) 親切(同情) (5) 寛容 (6) 禮儀 (7) 上品 (8) 清潔 (9) 整頓 (10) 謙讓等なり。

○

大 阪 松 島 幼 稚 園

○きまりよくせよ。(ふしだらなるが故に) 例へば食事せず登園するもの、遅刻多きこと、洗面せぬもの、髪を梳らざるもの、羽織の紐なきもの、帶をせざるもの、携帶品を忘るゝもの、其他是れに類するも多し。

○靜かに落つけ。(輕卒にして不注意なれば) 一般に落つきなくして忍耐力に乏し。

○自分勝手をすな。(我まゝにしてあつかましかれ

ば) 兎角我儘にして従順ならず。

○丁寧に物を言へ。(言葉きたなきがゆゑに) 此の邊は一般に言葉遣ひ至つて下品なり。

細記すれば多々あれど、標的として力を盡くすべきは、右の如きものに御座候、尙興行物(活動寫眞)などより來る感化も随分少なからずと存候事もあれど、こは項を設くる事難ければ略し申候、尙右の項目の撰ばれたる原因とも覺しき參考資料を「現在園兒の家庭職業別百分比」として調べ上げ候まゝ、參考にもならばと記し置き申候。

官會社員	商
吏員	店
4.50	38.76
運輸業	船舶業
工業	飲食店
2.81	92.77
無職	勞職
5.62	12.92
	藥種店
	醫師
	5.62

附記 園兒總數百七十八名。

○

大阪汎愛幼稚園

當園訓練の目的は情意を陶冶し自治の道德を涵養するにあり。其目的を達せんが爲その實施細目を左の四部に配當編制せり。

第一部、室内室外道路等の場所に配當せる訓練。

第二部、幼兒の身のまはり、下駄箱、傘棚、辨當火鉢、遊戲具、其他物に配當したる訓練。

この二部に於ては自治習慣を作るべく私德より公德に順次訓練せんとす。

但し別に階段的公私兩德を分つことなく其材料の都合により混同せるものあり。

第三部、一日の時に配當したる訓練。

朝起より就寢に至るまでの終日のことにつき公私兩德に亘りたる細き自治の訓練なり。

第四部、一年の時に配當し四月の始業式より保育修了式に至る一年中祝祭日、節句、記念日等につき其都度適當なる談話をなし此部に於て他よ

りも大なる忠君愛國等の國家道德敬神の念を養ひ及び節句等の國民的習慣を知らしめんとす。

(詳細なる細目は別に之を定む)

岡山市立幼稚園

拜答御照會の件左に御答申上候當岡山市には弘西、旭東、深機、清輝、出石の五幼稚園有之一人の園長之を總括監理し保育方針及び躰上に就ても同一に候へば左様御承知下され度候。

訓練上要綱

岡山市立弘西、旭東、深機、清輝、出石幼稚園一、幼兒として自ら出来る範圍内の事は自己にて爲さしむること(自治習慣の基礎を作る)

二、群集生活の面白味を感じしめ人は孤立しては何事も出来ざるものなるを知らしむ。(共同一致の精神を養ふ)

以上二項實施の順序、方法は岡山市幼稚園所定の保育細目に據る。

東京市九段坂下 精華幼稚園

訓練上の標的となるべき事項は其園に於ける幼兒の家庭の狀況によりて、多少異なる點がなければならぬと存じます。私の園にはまづ市内中流以上の家庭に育つ子女が多く參るやうで御座います。従つて家庭からの希望もそれに對する行儀作法言葉使ひ等の點にある様で御座います。

「強くやさしくきまりよく」といふ言葉は、當園の訓練上に於ける標語ともいふべきものになつて居りますので、それによつて、始終説話をいたします。此のことはわかり易く且つ非常に效果がある様で御座います。しかし疎暴にならざる限り、なるべく無邪氣に小供らしく、元氣よく、活潑にさせる事を片時も忘れませぬ。眞面目とか正直とかは言をまたぬ事と存じます。

本園に於ては國民的生活の基礎たる道德的性格の萌芽を適當に培養するを以て使命となす、而してその方法は「良い子になりませうね」と時に臨み機に應じて誘導するにあり。左に良い子の一覽表を掲ぐ。

元氣 暑き日も寒き時も雨風の日も雪

の朝も病氣の他は園に來りて充分遊ぶ子。

正直 少しも虚言をいはぬ子。

良い子

從順 家庭にては父母園にては保姆の言葉を靜かに聽きて其を行ひ自分の事は自身にてなす子。

友愛 兄弟又は友達は相互に仲良く遊び自分より小さき兒を可愛がる子。

東京 學習院女學部幼稚園

一、從順 何事も心よりよろこんで從ふ様にし度いと思ひます、これはかなり今までに出來てゐる積りで御ざいます。

二、本氣 すべての事に、全心全力を注いでする様にさせて居る積りでございます。

三、自治 こゝでは特別にその方面の必要を感じますので事々にその精神を養ふ様につとめて居ります。

東京 誠之小學校附屬幼稚園

弊園に於ては、柔順、正直、獨立心の三種を主として之に次ぎて、子供らしかれと云ふ事に注意致して居候而して之に基き、朝、食事、登園準備、登園途中、歸宅より夕食迄、夕食後、衛生、來客の時の八項に分ち之を躰方要項として實行を試み居候事に御座候尙其細目を左に、

▲朝 母より起床を命ぜられたる時は素直に起る事。

1 直に寢衣を着替る事。

2 着せる人を撰ばぬ事。

3 着せ方に小言を云ぬ事。

4 面を洗ふ事。(可成自分で)

イ 齒を磨く事。

ロ 口中をよく洗ふ事。

ハ 目やにをよく取る事。

▲食事

1 遊び半分に食せぬ事。

2 急食せぬ事。

3 お菜^{かず}に好みを云はぬ事。

4 食後含嗽する事。

▲登園準備

1 衣服履物凡そ母の命するまゝに従ふ事。

2 附添人を撰ぶな。

▲同途中。

1 雨天の外は可成歩め。

2 途中無用の玩具を買はぬ事。

3 道草せぬ事。

4 幼稚園の歸途母の許なくして朋友の家に遊びに行かぬ事。

▲歸宅より夕食迄。

1 出入共に父母に挨拶せよ。

2 間食は母より與へられたる丈にて満足せよ。

▲夕食後

1 夜は間食をなさぬ事。

2 就眠時刻來らば父母に挨拶して素直に床に入る事。

3 可成早く寝る様にし夜更しをせぬ事。

4 床に入る時は素直に寢衣を着替る事。

▲衛生に關する事。

1 幼稚園より歸らば必ず口及手足を洗へ。

2 入浴は度ふせよ。

イ 素直に洗はせる事。

ロ 入浴終らば體を能く拭ふ事及裸體で駆廻らぬ事。

3 爪、耳垢は屢々取る事。

4 理髪も父母の命する儘になす事。

▲來客の時

- 1 來客の時は母に種々の請求を云出さぬ事。
- 2 客の前に出てたれば先おじぎをする事。
- 3 客より何か尋ねられたる時は（ハニカマズ）
明らかに應答する事。

○

横濱 横濱小學校附屬幼稚園

御尋ねにあづかりました當園の幼兒の訓練上、最も重要な點として注意して居る所はと申しますと、勢ひ郷土的の色彩を帯びて參ります。郷土的の缺陷即當園に於て最も注意すべき點かと存じます。都會生活、殊に當地の如き商港地に於て最も深く感ずることは、自然界との交渉の少い事と、ともすれば觀察力の鈍い上すべりのしたる者になり易くかつ神經質の者の多いといふ事とを感ずるので御座います、そこで如何にして之を避け、深みのある落付た者にさせたいといふ考へから當園では常々眞面目であれ、忍耐強くあれ、元氣であれ、と申して居りますと同時に出來得るだけ自然

界に接せしめ、こせついた、せわしない氣分から遠ざからせて、伸りとした趣味をもつた兒供になせたいと願つて居ります。

眞面目……總ての事を眞面目に見、眞面目に考へ、深みのある、落ついた、注意ふかいものにさせたいと存じ總ての事を一生懸命にする様にと申して居ります。

忍耐……兒供は元來狹量な者でありますのに、加へて刺戟の強い都會生活は益々神經的な狹量な者といたしますのを避ける爲常に同情心に訴て忍耐つよくあれといふ事より、自然に寛容といふ精神に導きたいと思つて居ります。

元氣……以上の事を行ふ上に元氣は最も大切な事かと考へます、即努力心とか、進取氣とか獨立心とかいふ事も此から生れて來るかとか考へられます。

まだ……注意すべき點は數々御座いますが紙數に限りある事でもありかた……當園として特に注意

しなければならぬ點だけを申述べました。

○

大 阪 御 津 幼 稚 園

御津幼稚園訓練上の目標

一、身體の基礎的練習及衛生の一端を知らしめ且習慣的に實行せしむ。

一自治の基を作り他日獨立的精神の確立を期す。

一、自發力を利用し心を養ひ且より以上活動を盛ならしむ。

一努力をなし得る心意を養ひ思ひ立ちし事は如何なる障害に逢ふも達せざれば止まざる不屈不撓の精神を養ふ。

一教へを受くるに従順なる習慣をつけ善に對し眞の自由ならしむる習慣を付す。

一交友並に團體に對する義務と權利のある所並に同情を知らせ他日社會の一員となり平和を維持し得る基をなす。

一國家的觀念を作り國民性の基を作る。

一神又は自然に對し敬虔の念を養ひ宗教心の萌芽を培養す。

一趣味を培養し優しき情を養ふ。

一家庭に於て長上目下に對する心得を知らせ習慣的に實行せしむ。

○

東京府下大崎 頌 榮 幼 稚 園

本園は幼兒身心の發達を善良に遂げしめん爲め兒童をして自由に活動せしめ、身心を健全ならしむるに重きを置き、出來る限り、各兒の個性に注意し、すべて興味を以て充分に娛樂遊戲せしめ、務めて徳性を涵養し、獨立自治の念を養ふと同時に勤勉耐努力創造の念を養ひ、併せて共同一致協力の精神を旺ならしめ、後日沈着、量大、有爲の人物ならしむる基を養成す。

○

靜 岡 靜 岡 市 立 幼 稚 園

凡そ訓練は習慣的ならざるべからずと存じ、所

謂三つ子の魂百迄と申せばこれにより幼児の内部的にして人格的な情緒的基調を養はんことに努め、理を離れ、努力を俟たず、自由の内に居て、しかも則を踰えざる國民としての情操、人間としての行動等が正しき現れをもつ人格を成すべく、保姆の感情行動は何時も上品にして偏頗なく、愛の泉より誠の溢れを子等の上に傾けつゝ保育す、之によりて得らるゝ報いは他の教育界に得られざる幼稚教育者の福音なりと信ず。

國民性教養資料として、(一)時機により皇祖皇宗の御話をなし、伊勢大廟を遙拜せしめ、國民紀念日には分り易く其の御話を爲し、國家的感じを起さしめ、崇敬の念を起さしむ。(三月九日は我が三十四聯隊苦戦の歴史ある日なれば招魂社或は陸軍墓地の拜禮に赴かしむ)、(二)神社佛閣に詣づる時は必ず禮拜せしむ、(三)神話又は昔の忠君愛國の士の話により國體のこと愛國の萌芽をめぐらしめ、父母の愛のうれしきを常に思はしむべく誘導

す。平常にありては、(四)幼児の自尊心を助成し從順にして正直に、人をゆるす寛大なる素質と仕事を喜ぶ習慣を成立せしめ、不知不識の間に常識上の動作及び其以上の良習慣を得せしむべく努む(五)毎週豫定に於て躰方の各項目を定め打合せをなして實施す。

○

大坂市 中大江幼稚園

まづその人を得て……

本園にては幼児の訓練上余りに實績の見るべきもの少きに苦み先以て保姆自身の訓練より初めなば一つの有意義の幼児訓練の行はるべきかと考へられ候此事は目下の急務かと痛切に愚考仕居候。善良なる保姆を得ると否とは實に幼稚園の浮沈に關する事にて殊に幼児訓練上に於て然りと愚考仕り而して別に之としての標的は掲げ申さず候へども

常に幼児をして眞の自由の下に生活せしめ力め

て大膽に、のんびりと育て然も眞面目に且すなはなる美德を養ふ様な機會を與へるのを逸せぬやう致し居候幾多の標的をかがぐるとも之を妙用する保姆なかりせば其標的たるや何等の價値なきものと考へられ候幼兒訓練の根底としては保姆自身の訓練に有之かくて其進むべき標的とか申すべきは前述の様の事に考へられ候。

かゝる二つの事よりして「現在」に生ける尊き幼兒の生活を價値あるものと致したく存居候右の回答或は御たづね以外の事に及び候次第も之れあり候はんと懸念仕候へども幸に賢察の上御聞せ被候。

○

京 都 豊 園 幼 稚 園

幼兒を指導するには教へるより感化の力が大切である。

幼兒に望む様は父母や保姆の行爲を始め幼兒の周圍が總て其の氣分にならねばならぬ。

若し教へらるゝ事と見聞する事とが相違するならば單純なる幼兒の精神界には大なる怪疑を起さすものである。

そして之が外界に對して不眞面目になる機會を與へるものである。大人に必要な行爲を其まゝ、幼兒に望むのは幼兒が不眞面目になる機會を多くするものではないでせうか。

私の園では幼兒が毎日「快活に仲よく遊ぶ」と云ふ事が第一の標的である。之が社會的生活の始めであり、やがて成人しても毎日快活にお互に睦じく働き各自の義務を遂行する事が人生の終りであると思ふ。快活に出来ない。仲よく出来ない幼兒は必ず身心のどこかに、故障があるからである或は體質の薄弱なるため、精神に異状のあるため家庭の不和なるため、生活が不規律なる爲めなど或は園内の事情によるか、それ／＼各自の缺點について適當なる機會に於て指導矯正する事を努めて居る要するに幼兒の實際生活に表はれる一時一

事について人生の根柢を涵養させたいと思ふのである。

○

大 阪 堀 江 幼稚園

「三つ子の魂百まで」「先入主となる」と云へるは實にうべなることにして幼少の時に養成せらるゝ習慣の重んずべき理を示せるものと考ふ。されば當園に於ては次に述ぶるが如き事項を標的として善良なる習慣の養成につとむ

1 元氣にして圓滿なる感情を養ふこと

大都市の中央にありて園域狭く自然界に接觸せしむるの機會乏しき當園の如きは自ら幼兒の元氣を滅殺すること多くしかも遊廓地に接近せるを以て凡じて早熟をまぬがれずされば保姆は一層の熱誠と温情とを以て之に接し不知不識の間に元氣に満々たる圓滿なる感情の感化誘導につとむ

2 自立の人たらしむること

即ち干涉、拘束を可成避け幼兒自をして行爲の結果を経験せしむるの機會を多く與へ其行爲の是非善惡を自得せしめんことに留意す

注意、但し非常なる惡結果を來さんとする行爲は之を避けしめんが爲意思の轉換をなさしむる等機に臨み時に應じて適切なる誘導を與ふ。

3 言語動作の良習慣を養ふこと。

當園は前にも述ぶるが如き狀況なれば優良なる言語の使用と優雅にして元氣ある舉動の馴致とは共に一層の努力を要す。

4 整頓に關する良習慣を養ふこと。

家庭との連絡に注意し起床就寢の時刻を大體を定め登園時刻も可成毎日違へず手拭、鼻紙は必ず携帯せしめ、登園後は履物、帽子等の置場々々に之を正しく整頓せしめ遊戯具は使用後必ず元位置に整頓せしむ。

5 清潔に關する良習慣を養ふこと。

食前には必ず手を洗はしめ、食後には口を嗽がしめて、齒を清潔ならしめ又會集前十分間程を利用して整容時間にあて着物の着方、頭髮の亂れたるを正し爪の延びたるをつみやる等、身のまはり清潔に注意せしむ、又園内に鼻紙其他紙片等を散らさず若し散りたるを見たる時は紙屑箱に入れしむ。

注意、良習慣の持續をはかると共に惡習慣に對しては家庭との連絡をはかり、惡癖の依て起る原因を調査し之が除去につとむ。

○

大阪市 江戸堀幼稚園

幼兒は元氣よく仲よく氣持よく遊び

凡てに對しては眞面目にあれ

幼稚園に於ては幼兒の自然的活動を基礎として其自然的發達を保護すると共に訓練上にも大に注意を拂ふべき事でゐまして斯道に従事せるものは此等を寸時も忽にすべからざる事と存じます諺

にも(雀百まで踊を忘れずとか)申様に此大切な時期に於て訓練上の基礎ともなるべき科學的研究の結果を充分に腦裡に置きまへ置き加ふるに多大なる趣味を以て幼兒に接し第一幼兒をよく理解しよく觀察し幼兒より凡てを學び可成人爲と強迫とを少なくし教育的に整理せられたる善良なる境遇の許に氣持よく思ふまゝ欲するまゝ好むまゝに愉快に基礎的筋肉の發達を計りつゝ遊ばしむる事に留意すべきで事と存じます此遊びをして幼兒としては理想的行動なる如くならしめ且つ幼兒を貴きものとして取扱ひ幼兒の些々たる獨創的發表にも貴きものとして之れを歡迎し又性癖ある幼兒に對してもよく其子供の長所を見出して其れを開張し又凡てに對しては愛情温情を以て接し此溫き情の接觸により知らず識ずの裡に良感化を與へ之れが習ひ性と成て美しき感情を養ひ幼兒の道德的品性を高むる事も出來又所謂貴くして圓滿なる人格を有する人即ち社會に出で眞面目なる人物(誠意誠

實なる）を造り出す事が出来る事と存じます此品性高くして眞面目なる人物も社會に於て活動なし得るには健全強固なる神經系統の力に俟たなければならず又一般國民として社會に出で、如何なる艱難にも打克て成功なし得る様の心身ともに健全なる幼兒を造り出す事に研究努力をせねばならぬと存じます故に弊園の訓練上重要點として注意なし居る事は幼兒は出來得る限りよく遊びて心身の健全強固なる幼兒を造り出す事と一方保姆の幼兒の理解と愛情により貴き圓滿なる性格の幼兒を養ひ善良なる境遇の許に幼兒神經系統の養護を計り以て幼稚園教育の標的の完全を希望して止ないのであります左に不完全ながら弊園に於て神經系統養護の考を以て幼兒教育上に實行なし居る要項を擧げて御經驗豊富なる諸先生方の御教示を仰ぎ度存じます

1 出來得る限り戸外保育に重きを置き基礎的筋肉の發達を計ること。

2 自然物に接觸する機會を與へ自然を學習する方法として自然物を豊富に蒐集して自由に玩弄せしむること。

3 可成騒がしき周圍を避くる様の機會を作り氣持よき境遇の許に遊ばしむること。

4 思ひ切たる活動遊戲を大に奨勵すること。

5 睡眠の時間に就ては十二分注意を拂ひ幼兒の自然の睡眠時間を少しも減することなく充分に睡眠時間を與ふること。

6 繪具類の觀察を制限し又過度に神經興奮せしむる様の談話遊戲を嚴禁すること。

7 日光風通によく注意し酸素の供給を充分にし可成幼兒をして土にしたしませる機會を與ふること。

○

大阪市 精華幼稚園

御照會の趣左に御答へ申候。

當園に於ける訓練上主要の項目は次の諸點に有

之候。

(一) 幼兒の自己活動を尊重すると同時に従順の徳性を涵養すること。

(二) 清潔、衛生の良習慣を涵養すること

以上を訓練の二大綱目とし尙知的取扱に於ては求知心の満足、情意の取扱に於ては同情と善良なる目的の遂行による満足を得しむることに注意す。

○

大坂船場幼稚園

幼稚園に於ける訓育は實に將來教育の基礎となるべきものなれば保姆たる者は常にその修養を怠らず愛情と熱誠とを以て幼兒に接し誘導感化によりてその心情を養ひ幼兒の善良なる習慣の養成に努めざるべからず今本園に行へる項を舉ぐれば左の如し。

一、元氣よく快活ならしむること。

即幼兒の自發活動を尊重し尤も愉快なる、豊富

なる、且自然的なる生活を營ましむること。

二、眞面目にして圓滿なる心情を養成し、従順、愛情、正直等の道德的基調を養ふこと。

三、自治の習慣を養ふこと。

履物所有品の處置その他幼兒自らなし得らるる事は必ず自分に行はしめ以て獨立自營の習慣を得しむること。

四、日常實際生活に關する良習慣の養成。

(イ) 生理的即睡眠衣食等に關する事項なれば家庭と雖も不規律に流れざる習慣を得しむること。

(ロ) 言語動作等主として作法に關することなれば適當なる模範と不斷の注意とによりて善良に導くこと、殊に食事の際はこれら良習慣を養成する好機會なれば一層注意を怠らざること。

五、清潔整頓に關する習慣の養成。

顔面手足(ことに爪)頭髮、衣服等自己身邊より

所持品遊戲具その他室の内外等に至る迄常に清潔整頓に注意せしむること。

六、美に對する愛好の念を養成し優れたる感情を養ふこと。

即室内の裝飾、庭園その他幼兒の環境を美的になし趣味の養成に心がくべきこと。

七、なるべく自然に接觸せしむること。

大都市に住居せる幼兒なれば稍もすれば神經過敏に流れんとする刺激を受けること多ければ保育者たる者は大にこの點に注意しなるべく刺激を避けしめ事情の許す限り郊外に導きて美しき大なる自然の風光に接せしめまた園内草花を培養せしめ或は自然物を玩弄せしむる等これら自然に親しむべき機會を多く與ふことに注意を要す。

○
私は自分が生死を抛げ出して安心して歩で行ける程の道が、凡てを産み出す自然と離れた後天的の獲物の中にあるとは信ぜられません。即ち學問の中にあるとは信ぜられません。學問は石鹼です、垢磨です。而して文學は心と體との皺を伸ばす湯船です。文學を學問的に取扱つて、垢磨をかけ石鹼で洗ひ湯に漬かつてみた處で、自然のまゝの心と體は自然のまゝで變りはない。それならば湯に入らなければどうでせう。内と外から附く垢は、醜い鱗を着せて了ふ。天真爛漫の心身を磨いて、生て行き死んで行き、無量無疆の自然と合して、過去は無始に連り未來は無終に連つて、我れ子なるが故に父、父なるが故に子の一切の因縁を一身に具し、自然と人生とを結合するかういふ文學を拈り拈つて、一日を生き一日を死に、朝湯を以て湯灌に代へ、湯灌を以て朝湯に代へる、是れが私の立脚地です。(松浦一氏「生命の文學」より)